

在校生からのメッセージ

こだま ようすけ
小玉 洋輔

資源環境物質循環研究室



国際資源学部を勧める理由

この学部の最大の特徴は2年次以降の専門科目を全て英語で行い、3年次に「海外資源 FW」という約1ヶ月間の海外留学が実施されるということです。大学生活4年間という限られた時間の中で仲間と共に、英語で講義を受けたり、世界の魅力を発見できるのは大変貴重な経験であり、知らず知らずのうちに自分を成長させてくれる場だと思います。また、文系1理系2の計3コースから成る文理融合型となっている点もこの学部の魅力だと思います。秋田を拠点として世界を見つめることのできるまたとないこの機会を国際資源学部で共に楽しみましょう！

研究内容

秋田県仙北市玉川の河川水の Sr, Pb 同位体比を測る研究を行っています。上流には玉川を左右させる「玉川温泉」という、日本一の湧出量と強酸性を誇ることで有名な温泉があります(写真)。研究では、実際に玉川へと赴き約20カ所から河川の水を採取し、大学の研究室へと持ち帰り、分析を行っています。測定した同位体比から、各々の値を比較し、各地でどのような現象が起きているのかを明らかにしていくことを目的としています。実際に野外へ行き、川や山などといった自然を体感しながら調査を行うのがこの研究室の見所だと思います。

将来の希望

資源業界のみならず、他業界で働きたいとも考えています。資源業界の企業は県外に多くあるものの、地元が秋田であることや元々県内での就職を希望していることもありなかなか難しいからです。国際的に活躍するのは難しいですが、自分がどのような仕事に向いているか向いていないかということを手勝手に決めつけず、色んな業界の仕事に興味を持ちチャレンジしたいです。そんな中で何か1つ楽しいと思えるものを見つけ、自分の不真面目で優柔不断な性格を活かしつつ改善し、切磋琢磨に仕事をしていきたいと思っています。

オフタイムにしていること

主に趣味のサイクリングで、大学周辺問わず自由に走り巡っています。行き先を特に決めず、自転車を止めて写真を撮ったり、寄ってみたいと思ったお店に行くのが楽しみです。また、(医学部)陸上部にも所属していて、ランニング程度に部活に参加したり、秋田駅の中の焼き鳥屋さんでアルバイトをしています。家にいる時はテレビをよく観ます。